



# 一中だより

令和 5年10月 26日 発行 7号

新潟市立新津第一中学校

電話 0250 (22) 3622

FAX 0250 (22) 6407

HP<http://www.niitsuljh.city-niigata.ed.jp/>

e-mail j501niitsu1@city-niigata.ed.jp

## 令和5年度 当校生徒の学力検査結果について

新潟市では、生徒の学力状況の評価指標を、「NRT等の標準学力検査」と「全国学力・学習状況調査」としています。この二つの検査の分析結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

### 1 「NRT標準学力検査」の結果より

基礎的・基本的な知識や技能を標準化された問題で測るテストで、1～3年生を対象に、4月に国語・社会・数学・理科・英語の5教科で実施されました。

#### (1) 当校の学力実態（偏差値平均）（50が全国平均）

学年	国語	社会	数学	理科	英語
1年	54.9	52.9	53.2	51.3	54.0
2年	50.8	48.7	49.1	48.5	48.8
3年	51.6	51.8	50.6	50.8	49.6
全体	52.4	51.1	50.9	50.2	50.8

#### (2) 各教科の傾向

##### 【国語】

1年生の学力水準は全国平均以上です。小学校で学習した基礎的・基本的な事項は十分身につけています。特に、文章を整え感想や意見を伝えあうことにおいて、非常に優れています。2年生は学力水準が全国平均並みです。要点をとらえ正しく解釈することには優れていますが、漢字を正しく覚えて使う内容が苦手な傾向にあります。3年生の学力水準は全国平均以上です。話の内容をとらえることや、考えが伝わるよう工夫して書くことができます。一方で、感想や考えをまとめ伝え合うことが苦手な生徒が多いようです。

##### 【社会】

1年生は全ての領域で全国平均を上回っています。ただし、地理的分野の「日本の気候とくらし」「都道府県の名称と位置」の理解が低い傾向にあります。2年生は2つの領域で全国平均を下回りました。「歴史の流れと時代区分」「世界の古代文明、原始時代の日本」についての内容を苦手としている結果が出ています。3年生は、地理分野の「地図の見方と身近な地域」、歴史分野の「幕藩体制の確立と鎖国」の内容が全国平均より低い傾向にあります。

##### 【数学】

1年生は全国平均を大きく上回っており、小学校6年生の学習内容を十分に身につけています。2年生は全国平均を下回っていますが、「図形」「関数」「データの活用」の3領域は全国平均を上回っています。「数と式」領域の文字と式、方程式を苦手としています。3年生は全国平均とほぼ同様でした。「数と式」領域の式の計算の正答率が若干低い傾向にあります。

##### 【理科】

1年生は全国平均を上回りました。「エネルギー」と「粒子」の領域の正答率が高く、これらの領域はすべて全国平均を上回っています。「生命」「地球」の領域についても、ほぼ全国平均以上の正答率となっています。2年生の学力水準は全国平均を下回りました。「大地の成り立ちと変化」分野の正答率が全国平均をわずかに上回りましたが、その他の領域ではすべて全国平均を下回っています。3年生は全国平均を上回り、「化学変化と原子・分子」分野での正答率が高くなっています。

##### 【英語】

1年生は「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」全ての領域の正答率が全国平均より高く、小学校の外国語の授業やALTとの言語活動などを通して、英語運用能力が育ってきています。2年生は、「話すこと」「書くこと」の領域が全国平均より低く、表現活動が苦手な傾向があります。3年生は「話すこと」の領域が全国平均より若干低く、英語で考えや気持ちを正しく伝えることが苦手な傾向にあります。

### (3) NRTの結果を受けての取り組み

#### 【国語】

1年生は、どの項目においても正答率が高いです。特に「工夫して話し、感想や考えを持つ」ことなど、読解力が高いことが分かりましたので、様々な文章に触れて力をさらに伸ばしていきます。2年生は、「漢字を書く」と「敬語を正しく使い話す」の項目において、著しく正答率が低いので、毎時間継続して指導していきます。また、「情報を選び構成を考えて書く」力が少しずつついてきたので、引き続き文の中で適切な使い方ができるように指導法を工夫していきます。3年生は「話し合い、感想や考えを持つ」ことや「情報を選び構成を考えて書く」ことなど「話すこと・聞くこと」における能力が高いことが分かりました。この長所をいかして「書くこと」の表現力も高めていくように指導法を工夫していきます。

#### 【社会】

3年間を通して、都道府県名とその位置については、地理だけでなく歴史の授業の中でも、地図で確認を行い、都道府県名とその位置を確実に覚えるよう指導し、日本の国土、気候、世界の国々の位置について、地図で丁寧に確認していきます。また、六大陸三大洋の位置、州名、緯度経度、日本の原始から古代の歴史の流れ、天皇を中心とした律令政治、貴族による政治や文化について、また、太平洋ベルト、日本の産業の特色、日本の近世、近代の歴史について、授業の中で復習や振り返りを行い、定着を図っていきます。

#### 【数学】

1、2、3年生ともに、授業で基礎的な知識と技能を着実に定着できるように力を入れていきます。年間を通してワークを反復して学習することで、計算力の定着を図ります。また、知識と論理的思考、表現力が結びつくように、図形の学習では筋道を追いながらノートをしっかりと書かせたり、図表やグラフを用いて説明する練習を積むことで、記述式の対応力を高めたりしていきます。

#### 【理科】

授業の振り返りを書かせることで、記述力の向上とともに学習内容の定着を図ります。また、要約する力の向上、学習内容の整理および自己の学習の振り返りをねらいとして、小単元ごとのポートフォリオ作成を行い、蓄積していきます。

授業の取組として、実験観察のレポート作成を通して考える力、書く力の向上を目指します。観察しにくい事物現象について理解を深めさせ、考察する力を伸ばすため、ICTを活用していきます。

#### 【英語】

基礎基本の定着のために、単元テストを充実させ、また、家庭学習を促し学習内容を復習できるようにします。また、生徒の聞く力を伸ばしつつ、聞いた内容を理解し、文章で書くことや、聞いた内容について英語で話すことができるように、一つ一つの学習をつなげていきます。また、パフォーマンステストの内容を精査し、「考えや気持ちを伝える」力をつけるための対策をとっていきます。話す活動については、今まで以上に授業で取り入れ、継続して行うことによって「話すこと」を強化していきます。

## 2 3年生「全国学力・学習状況調査」の結果より

本年度の全国学力・学習状況調査は、全国の中学校3年生を対象に、4月に国語・数学・英語の3教科で実施されました。この調査の目的は、児童生徒の学力・学習の状況をきめ細かく把握・分析し、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることにあります。これを受けて、各学校で、教育指導の充実と改善に役立てていくものです。

### (1) 当校の学力実態（平均正答率%）

	新津第一中	新潟市平均	新潟県平均	全国平均
国語	75	70	70	69.8
数学	56	50	49	51.0
英語	47	42	41	45.6

### (2) 各教科の傾向

#### 【国語】

全ての領域において、全国平均正答率を上回りました。特に「思考・判断・表現力」における「書くこと」の領域では、記述式の問題での正答率が75.0%もあり、「自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くこと」や、「目的に沿って自分の考えをまとめること」がよくできていました。全国平均正答率を大きく上回ってはいるものの、正答率が低かったところは、「文章の構成や展開、表現の効果について、自分の考えを記述する」という問題でした。二つ以上の文章を比較し、それぞれの特徴や、細かな表現の違いに気づいたり、分析したりする力や、文章を書いた人の表現の意図を汲み取る力を高めていくような指導を、引き続き行っていきます。

## 【数学】

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」すべての領域で、全国平均正答率を上回りました。問題別で見ると、数学的な知識や技能を問う問題などはよくできていましたが、文章や図表など複数の内容を考察する設問や記述式問題で正答率が低くなる傾向がみられました。

## 【英語】

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域で、全国平均正答率を上回りました。「聞くこと」「読むこと」の英語を理解する領域では、全国平均正答率を大きく上回りました。「話すこと」「書くこと」の英語を表現する領域では、正確な英語で話す、正確な英語で書くことが、若干全国平均正答率が下回り、英語で考えや気持ちを正しく伝えることが苦手な傾向にあります。

# 当校生徒の学習状況調査の結果について

3年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」では、生徒の生活習慣や学習環境に関する生徒アンケート（学習状況調査）も実施されました。数多い調査項目の中から、「家庭生活に関わること」「自分自身に関わること」「学校の学習に関わること」についての特徴的なものを取り上げ考察しました。

## 1 家庭生活に関わること

	質問事項	本校	新潟県	全国
①	朝食を毎日食べていますか	94.4%	93.1%	91.2%
②	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	82.5%	80.8%	78.0%
③	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	95.4%	92.5%	91.3%
④	学校の授業時間以外に、普段(平日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか ※「2時間以上」と回答した生徒の割合	23.7%	18.7%	33.7%
⑤	今住んでいる地域の行事に参加していますか	55.9%	45.5%	38.0%
⑥	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	76.8%	67.5%	63.9%

- 「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の割合が90%を超えており、ほとんどの生徒がよい一日のスタートを切ることができています。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した生徒の割合が76.8%と全国平均を大きく上回りました。地域活動や行事に意欲的に参加することで、地域に貢献したいという思いが培われています。
- ▲平日の家庭学習の時間、2時間以上と回答した生徒が23.7%と低く、全国平均を下回っています。家庭学習等、主体的な学習への取組が当校の課題となっています。
- ▲「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合がコロナ禍明けでさまざまな制限が緩和された割には55.9%にとどまりました。(R4は71.6%)

## 2 自分自身に関わること

	質問事項	本校	新潟県	全国
①	自分には、よいところがあると思いますか	77.4%	80.4%	80.0%
②	将来の夢や目標をもっていますか	70.1%	65.6%	66.3%
③	学校に行くのは楽しいですか	84.8%	82.6%	81.8%
⑤	人が困っているときは、すすんで助けていますか	90.9%	89.4%	88.1%
⑥	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.5%	96.1%	95.5%
⑦	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.5%	95.4%	94.6%

- 「将来の夢や目標をもっている」生徒の割合が市平均、全国平均ともに上回りました。今年度に入ってさまざまな教育活動の制限が緩和され、徐々に通常の体験活動等もできるようになりました。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」が非常に高く、生徒の中に浸透していることが読み取れますが、限りなく100%に近づけるよう、これからも啓発活動を継続していきます。

▲「自分にはよいところがある」項目が新潟県、全国の平均を下回っています。この項目は自己肯定感や自尊感情をみるものであり、自らが主体的に行動することなどの基盤となる大切な部分です。これからも、ほめる指導を基本として、成功体験を積み重ね、生徒ひとりひとりが自信をもって学校生活を送れるよう取り組んでいきます。

### 3 学習に関わること

	質 問 事 項	本校	新潟県	全国
①	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していましたか	63.3%	68.5%	62.1%
②	1、2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	84.7%	84.8%	79.2%
③	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分考えを深めたり、広げたりすることができますか	86.5%	84.5%	79.7%
④	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	74.6%	73.5%	69.2%
⑤	総合的な学習の時間では、自分の課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	85.3%	84.4%	72.6%
⑥	1、2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか。 ※「週3回以上」と回答した生徒の割合	94.4%	74.5%	63.1%
⑦	学習の中でPC・タブレットなどの ICT 機器を使う勉強は役に立つと思いますか。	88.2%	94.8%	93.3%
⑧	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	90.4%	90.8%	86.3%

○③、⑧について、各教科において話し合い活動が多く取り入れられ、自分の考えを組み立てて発表したり、相手の意見を聞いたりして、自分の考えを深めている様子が伺えます。当校では、アクティブ・ラーニングに ICT や思考ツールを取り入れて、主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業を行っています。

○⑥について、ICT 機器の使用頻度は新潟県、全国の平均値を大幅に上回っており、当校では普段から各教科の授業の中で当たり前に使われていることがわかります。また、欠席生徒への学習機会を保障するために、zoom による授業配信も行っています。

▲⑦について、ICT 機器の使用頻度が高い反面、ICT 機器の効果については県、全国をやや下回っています。今後は ICT 機器のより効果的な使用方法を工夫していきます。

### 4 今後の対策

◎家庭学習については、日々の授業で「学習の振り返り」を行うとともに、その日の授業や予習につながる宿題を提示したり、連動した自主学習のやり方やドリルパークの練習問題を例示したりするなどして、家庭学習の充実に向けた指導をしていきます。また、予習・復習、受験用テキスト等の自主学習を、家庭学習の計画に位置づけて取り組めるよう支援していきます。しかし、家庭学習時間の低下は、携帯電話・スマートフォンやゲーム機器の使い方や使用時間の増加と、非常に関連が深いものと考えられます。使い方や使用時間についても一度家庭で確認するなど、保護者の皆様からのご協力をお願いします。

◎自己肯定感や自尊感情をもって主体的に行動する生徒の育成を目指し、これからも、ほめる指導を基本として、成功体験を積み重ね、生徒ひとりひとりが自信をもって学校生活を送れるよう取り組んでいきます。

◎今学んでいることが、社会や地域の課題解決にどう結び付くのか、そして自己の将来にどう結びつくのかが実感できるよう、そして今後地域や社会に貢献していく人材の育成に向け、今後も他教科や総合的な学習の時間（オレンジタイム）等と連携した指導を行い、「社会に開かれた教育課程」づくりを進めます。